

- 問1 島根県東部における1989年と2019年の工業団地の分布を比較すると、近年は新しく整備された自動車専用道路（国道9号・54号のバイパス等）の沿線に工業団地が目立つようになっています。このような工業の立地傾向について述べた文として、正しいものはどれですか。（2024年 島根県公立入試 類似）
1. 高速道路網の整備にともない、製品の搬出に適した道路沿いへの立地が進んだ
 2. 大型船の入港を前提とした重化学工業が、内陸のバイパス沿いに進出した
 3. 騒音問題を避けるため、交通量の多い道路沿いから鉄道沿線へと移転が進んだ
 4. 労働力を確保するため、駅前などの鉄道の利便性が高い場所に集約された
- 問2 岡山県と香川県の経済的・社会的な結びつきについて説明した文として、統計的な事実に基づいた最も適切なものはどれですか。（2023年 坂木県公立入試 類似）
1. 岡山県と香川県は海を隔てているため、旅客の移動はフェリーが中心であるが、近年の高速道路料金の値下げにより広島県を上回る交流人口を維持している。
 2. 香川県は岡山県と陸続きで隣接しているため、瀬戸大橋を経由せずとも日常的な徒歩や自転車での往来が容易であり、旅客数が周辺県の中で最大となっている。
 3. 瀬戸大橋の開通によって交通の利便性が飛躍的に向上し、香川県を訪れる県外旅客のうち、隣接する岡山県からの割合が約半分に達するほど交流が活発である。
 4. 香川県の人口は約97万人であり、これは岡山県に隣接する広島県や兵庫県よりも多いため、必然的に岡山県からの旅客流入数も最大となっている。
- 問3 中国地方の中央部に位置し、広島湾に面する広島市は、周辺の県を含めた広域的な中心地としての役割を持っています。この都市が持つ機能や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 瀬戸内工業地域の中核として、みかんなどの果樹栽培とそれを利用した食品加工業が最も盛んである。
 2. 広大な平野を利用した稲作が盛んであり、古くから食糧供給の拠点として発展してきた。
 3. 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。
 4. 四国地方最大の都市として、本州と四国を結ぶ交通の要所に位置する商業の中心地である。
- 問4 ある地点の気候統計において、1月の降水量が約30mm、7月の降水量が約180mm、年間降水量が約1100mmという、周辺の地域と比較しても際立って降水量が少ない数値が記録されています。この統計に合致する地域の気候区分とその特徴について述べたものとして正しいものはどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
1. 夏に南東の季節風や台風の影響で降水量が非常に多くなる、太平洋側の気候
 2. 冬の季節風の影響で1月の降水量（降雪量）が多くなる、日本海側の気候
 3. 中国山地と四国山地の間に位置する、瀬戸内の気候
 4. 梅雨や台風の影響をほとんど受けず、年間を通じて気温が低い、北海道の気候
- 問5 広島市は、札幌市、仙台市、福岡市などと同様に「地方中枢都市」と呼ばれます。広島市がこのような役割を担うようになった背景として、その都市機能の仕組みを説明した文としてふさわしいものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 瀬戸内海沿岸の工業地帯において、原材料の輸入と製品の輸出を管理する貿易の独占拠点となっているから。
 2. 中国山地と四国山地に挟まれた交通の便を活かし、周辺のすべての県庁所在地を統合した行政区となっているから。
 3. 県単位の枠組みを超え、中国・四国地方という広い範囲を管轄する行政や経済の窓口となっているから。
 4. 広島県内における農業、工業、商業のすべての産業において、県全体の生産額の過半数を占めているから。
- 問6 瀬戸大橋を含む本州四国連絡橋の開通にともなう交通の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
1. 交通網の整備により四国地方への観光客が増加したため、かつて廃止されていた港への鉄道連絡線をすべて復旧させ、海運との連携を強化した。
 2. 自動車の通行料金を抑制するために高速道路の利用が制限されたため、一般道路の混雑が激しくなり、鉄道の重要性が再び高まった。
 3. 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。
 4. 橋の開通によって本州と四国の往来が容易になった結果、フェリーの利用者数が急増し、港周辺の鉄道網が以前よりも複雑化した。
- 問7 中国地方の人口分布の特徴について述べた文として、正しいものはどれか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が高く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が低い。
 2. 中国山地に近い県ほど人口密度が高く、日本海側や瀬戸内海側の沿岸部では人口密度が低くなる。
 3. 中国地方5県のうち、最も面積が広い島根県の人口密度が最も高く、広島県の人口密度は最も低い。
 4. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が低く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が高い。
- 問8 日本の諸地域における産業や伝統をまとめた資料において、本州の最も西側に位置し、伝統工芸品として「赤間すずり」が記載されている県がある。この県の瀬戸内海沿岸で発達している工業の特色として、正しいものはどれか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）
1. 豊かな水資源と安価な電力を利用したアルミニウムの精錬や、製紙業が発展している。
 2. 大規模な平野が広がっているため、広大な土地を必要とする自動車の組み立て工場が集中している。
 3. 古くから繊維業が盛んだった背景を活かし、現在は高級な絹織物や繊維製品の生産に特化している。
 4. 臨海部の埋立地を中心に、石油化学コンビナートが形成され、重化学工業が盛んである。
- 問9 徳島県における地鶏の出荷量を1994年から2008年までの期間で確認すると、1998年を境に出荷量が急増しています。また、同じ1998年には「神戸・淡路・鳴門自動車道」が開通しています。この道路の開通が地鶏の出荷増に大きく寄与したことを客観的に証明するために、出荷量のデータに加えて確認すべき指標として最も適切なものはどれですか。（2018年 広島県公立入試 類似）
1. 徳島県内における地鶏の飼育農家数の推移
 2. 道路の開通前後における地鶏の卸売価格の変動
 3. 京阪神市場へ向かう地鶏の具体的な出荷経路の変化
 4. 1994年以前の長期的な地鶏出荷量の変化
- 問10 1988年に、岡山県と香川県を結ぶ瀬戸大橋が開通したことによって生じた交通体系の変化として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 本州と四国の間の物流が鉄道から航空路へと完全に移行し、瀬戸大橋は観光専用の道路となった。
 2. 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。
 3. 四国地方から本州への人口流出を抑えるため、あえて移動時間がかかるような道路設計がなされた。
 4. 海上の視界が改善されたことでフェリーの運航本数が大幅に増え、陸上交通との競争が激化した。
- 問11 日本の諸地域の産業に関する統計において、製造品出荷額のうち化学工業が約1兆6458億円に達しており、農業的な指標に比べて工業の規模が極めて大きいという特徴を持つ県はどこですか。（2019年 三重県公立入試 類似）
1. 山口県
 2. 徳島県
 3. 愛媛県
 4. 香川県